

ぐるっと  
250キロ

# なごりを惜しみ「深浦保育園」閉園

小木



昭和55年に小規模保育園として30名定員で開園し、25年続いた深浦保育園が平成17年4月から、小木保育園との統合に伴い、閉園することになりました。3月20日(日)に、永きに渡り支えてくださった地域の方々をはじめ、多くの皆様に参加いただいて閉園式が行われました。

式典では、高野市長から深浦保育園は、家族的な雰囲気保育事業が営まれたこと、季節毎の行事や保育園の運営に地域の皆様から、物心両面の支援と協力をいただいたことに対して、感謝の言葉が贈られました。また、「新しく整備される小木子どもセンターに、今年の夏から4歳児までの保育園児の皆さんが通って来るのを楽しみにしています」と挨拶されました。続いて、25年の歴史をスライドと語りで振り返り、参加者全員で当時の様子を感慨深く見入っていました。最後は、全園児によるお別れのことで締めくくられ、25年の歴史に幕を下ろしました。

お別れの会では、尽きることのない思い出を、1つひとつ確認しあうかのように、惜別の時間が流れていました。



ぐるっと  
250キロ

# 春の訪れを告げる 大わらじ作り

真野

3月6日(日)、倉谷集落では毎年恒例の大わらじ作りが行われました。これは「春來(はりきり)」と呼ばれ、昔から集落の若者へ受け継がれている伝統行事です。

この日は、朝から集落の青年団員9人が集まり、作業に取り掛かりました。

はじめに、わらを扱いやすくするために機械にわらを通す作業から



大わらじの掛け替え作業

行いました。その後、わらを継ぎ足しては力を込めて編み込んでいくこと半日あまりで完成しました。出来上がったものは、長さ約2メートル、幅約1.6メートルと近年では珍しく大きなものでした。

大わらじは集落の出入口2か所に飾られ、1年間、集落の安全を見守ります。



ぐるっと  
250キロ

# 安全安心まちづくり 佐和田地区大会

佐和田

3月11日(金)、地域住民・警察・行政が相互に連携して住民の安全・安心を確保し、犯罪や交通事故のないまちづくりを目指すことを目的に「安全安心まちづくり佐和田地区大会」が開催されました。

佐和田地区は、周辺の地区と比べて商業地が発達していることや、地域のコミュニティが昔と比べ弱まっていることから近年、佐和田地区の犯罪の増加傾向がみられます。

佐渡西警察署の小野康二署長の講話では、「佐和田市の安全は、まず佐和田から」「経験や知恵のある高齢者の方にもう一度地域のために頑張ってもらいたい」と話していました。



ぐるっと  
250キロ

# 創作民話劇「恋の懸け橋」公演

赤泊



3月6日(日)に、赤泊演劇研究会主催の創作民話劇公演が、赤泊総合文化会館を会場に開催されました。

この創作民話劇公演は、平成3年から毎年春に上演しており、赤泊地区に春の訪れを告げる定期公演として定着しているものですが、市町村合併等により2年ぶりの定期公演上演となりました。

今回上演されたのは、山田地区に伝わる民話「向山の兵衛門さんと二つ山のおさきさん」を基にした創作民話劇「恋の懸け橋」。地元の山田地区の小学生・保育園児も子役として参加し、ユーモアあふれる演技や子どもたちの熱演につめかけた大勢の観客を楽しませてくれました。



ぐるっと  
250キロ

# 一人だけの卒園式 (豊岡保育園卒園式)

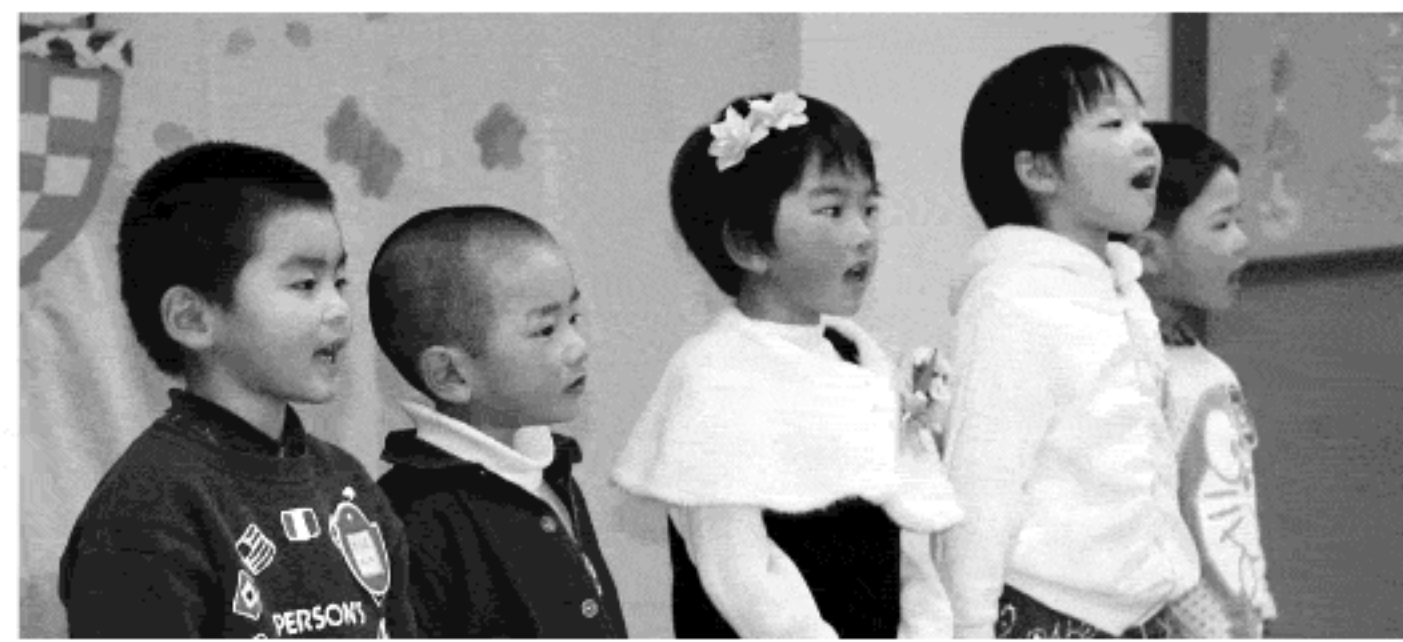
両津

豊岡保育園で3月に卒園したのはたった一人でした。

卒園するのは平間彩さん。この保育園にはデイサービス「いわゆり」が併設されており、今まで一緒に遊んでくれたおじいちゃん、おばあちゃんともお別れになりました。

4月、彩さんは岩首小学校へ入学しました。1年生は彩さん1人ですが、小学校ではお兄さんやお姉さんたちと仲良くして、たくさんのお友達を見つけてほしいと思います。

なお、4月から豊岡保育園への入園者はおらず、園児は4名となりました。



ぐるっと  
250キロ

# トキの 野生復帰に向けて

新穂

3月25日(金)トキの野生復帰に向けた第一歩となる野生順化施設建設工事の着工式がトキ交流会館で行われました。多くの来賓が見守る中、建設工事内容の概要説明や、トキへの思いとして野生復帰連絡協議会座長の高野毅さんが親子で携わってきたトキに密着した生活の事や今後の願いを話されました。

この順化施設は新穂正明寺地内に総面積22.5haで建設され、平成20年の放鳥に向けた機能訓練が行われます。

